



① ニチニチソウをつかった寄せ植え  
ニチニチソウは近年、花形の改良が進み、風車咲きやフリンジ咲きなども流通しています。いずれもあまり土質を選ばず、高温と日照を好む乾燥に強い丈夫な植物なので、夏の花壇には欠かせない存在です。



② ベゴニア・センパフローレンスを使った寄せ植え  
開花期間が長く、春から梅雨が降り始める晩秋まで咲き続けます。また、夏の暑さに強く日当たりが多少悪くても育ってくれる夏のガーデニングには貴重なお花です。



③ アスプレニウム エメラルドウェーブ  
ウェーブした葉が放射状に広がるユニークな観葉植物。艶のあるライムグリーンの葉が空間にも潤いを与えてくれそうです。シダ植物の一種なので日陰に強く育てやすいですよ。

## ライム & ホワイト

6月に入りますます暑くなってきましたね。今月は迫りくる暑さをさわやかに吹き飛ばすライムグリーン & ホワイトのフラワーコーディネートをいくつかご紹介いたします。

ライムグリーンは「沈静色」の性質を持っていて、沈静色とは自然を表す色なので心を落ち着かせる効果があります。緑色よりも明るい緑なので、希望を感じられたり、心を軽くしてくれたり、リラックス効果も期待できます。また、春の新芽や若葉を想像させるこの色は、何か新しいことをスタートさせるワクワク感やフレッシュな気持ちを想像させてくれます。

今年思い通りにいかないことが多いですが、気が付けば今年も折り返し地点ですね。家で過ごす時間が多い今こそ、何か新しいこと、例えば「花あそび」なんてはじめてみてはいかがでしょう？特別な知識や技術がなくても、花に触れるだけで心が癒されるはずですよ。



④ ホワイト～ライムグリーンのグラデーション  
カラーのママが可愛いアレンジメント。ドウダンツツジやクサが初夏の爽やかさを際立たせています。



① ピオニーアレンジ (コーラル)  
¥4,000 + 税

## 香りのバースデーフラワー

～シャクヤク～

梅雨の季節になりました。しつとりとした空気に緑の香りが漂うこの時期におすすめのバースデーフラワーにはシャクヤクがおすすすめです。

シャクヤクはアジア原産の多年生植物です。開花期は5月から6月、季節になるとスツと伸びた茎から大きな花を咲かせるのが特徴です。よく似た花に牡丹(ポタン)がありますが、ポタンは落葉低木の「木」として扱われ、シャクヤクは「草」として扱われます。見分けポイントに茎や葉が挙げられますが、「香り」も忘れてはなりません。

開花したシャクヤクに顔を近づけてみるとバラのような甘い爽やかな香りがあることに気が付かれます。シャクヤクにはバラやキク、スズラン、カトレアなどあらゆる芳香成分が含まれていることが分かっています。例えるなら、それは「ブーケ調の香り」でしょうか。フランスでは、白ワインの香りをほめる際に「シャクヤクの香りのような」と表されるほど一般的に知られているようです。

また、「薔」と名がつくことから薬用植物としても知られ、花から根まで余すことなく漢方薬としても使用されています。江戸時代からは「茶花」として、観賞用として愛されました。その後も品種改良が進み、多くの花形が作られるようになり、一重咲きや八重咲き、さらには細かく分類すると筒咲き、冠咲き、バラ咲き、半バラ咲きなど様々、このように現在でも、とても人気が高い花シャクヤク。今月は香りのある花シャクヤクがおすすすめです。



① ピオニー＆フラワーベース  
¥2,880 + 税



② ピオニーブーケ (ホワイト)  
¥4,000 + 税



③ ライムグリーンとホワイトで統一感を出しつつ、色々なお花がきゅっとコンパクトにまとめられているので、質感や形、表情の違いをより楽しめるアレンジメントです。



④ ディフェンバキア クールビューティ  
クールビューティは、斑の入り方がくっきりとしていて、グリーンとの取りも美しいディフェンバキアです。真上から覗き込むと、より葉色のコントラストをお楽しみいただけますよ。